

教科・分野		週時間数	クラス	担当者	
数 学 II		4	A組とB組の一部 [高校2年で科目名が数学IIはこの集団のみである]	小山	
目 標		学習単元の「図形と方程式」「微分法と積分法」は共に、“グラフをかく”ことが必須となる。よって、グラフをかく、という作業をしっかりとやらせ、直線、円、3次関数のグラフがかけることを1学期2学期の目標とする。 3学期は、生徒の進路を考え、数学Iの復習が適切であると考えている。			
大切に育てたいもの		関心	考え方	表現	理解
		計算主体ではなく、グラフをかくことを主体とする。	微分を用いて関数の増減を知ることや微分と積分の関係を学ぶ。	表をはじめ、直線や円などのグラフなどを用いて、視覚的な表現を身に付ける。	グラフをかくことで理解を深めさせたい。
学期	考査	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
一学期	中間	第3章 図形と方程式 1. 点と直線 から 5. 円の方程式 まで		私立文系、いわゆる数学が苦手な生徒の集団である。ドリルをしっかりとやらせ、基本的事項はできるようにさせたい。	
	期末	第3章 図形と方程式 6. 円と直線 から 9. 不等式の表す領域 まで		しっかりとグラフをかかせる。イメージをつかみながら理解を深めさせたい。	
二学期	中間	第6章 微分法と積分法 1. 微分係数 から 4. 関数の増減と極大・極小 まで		微分積分の計算は機械的なので、理論より単純な計算が確実にできるようにさせたい。	
	期末	第6章 微分法と積分法 5. 関数の増減・グラフの応用 から 8. 定積分と図形の面積 まで		微分や積分を利用することでグラフの特徴を捉えることができることを理解させたい。	
三学期	期末	数学Iの演習		数学Iが必要な生徒が何名かいるはずである。よって3学期は数学Iの演習を行いたい。	
評価の方法		定期考査, 小テスト, 提出物			
学習活動の特徴		一斉授業→課題提出→小テスト→再テストなどスモールステップで指導する。			
授業の形態		講義形式			
使用教科書		高等学校 数学II (数研出版)			
使用副教材		現高2からは生徒全員がスタディサプリに登録。 問題集、参考書は原則として購入しない。 よって、課題は、スタディサプリ、またはスタディエイドで作成した教材となる。日々の課題はスタディエイドで作成したプリントとし、解答解説をWEB配信予定。 長期休暇の課題にスタディサプリの利用を考えている。			
用意するもの		教科書, ノート			